＜親子コミュニケーション応援編＞

教材番号　　**ｺ—1 スマホ版**

**２**

対象(時間)：概ね２、３歳～６歳児の親　(40分程度)

**「ちゃんとしてね！」で伝わってる？**

【ねらい】曖昧な表現では子供に伝わらないマンガを通して、子供の気持ちに共感した具体的な言葉かけや対応について考える。

　【参加者の準備物】　アイスブレイク用の用紙、ペン

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時　間 | 展　　開 | 留　意　点 | PC・スライド |
| : | 〇入室 | ○名前の入力（ニックネーム可） | 画面共有オン  スライド①  スクリーンショットの確認（肖像権の確認） |
| ：  (２分) | ○ファシリテーター（学習支援者）の  自己紹介、主旨・ルール等説明を聞く。 | ○和やかな雰囲気づくりに配慮する。  ○「親子コミ」三つの特長(親等の悩みに対  応、子供の気持ちを理解し自己を振り返る、  具体的な子供との接し方についての情報提  供)をファシリテーターが理解した上で、「子  供の気持ちに共感した接し方、コミュニケー  ションの方法を、具体的に考えてみましょ  う」と参加者に説明する。 |
| :  (５分) | **自己紹介**（５分）  ①自分の名前  ②子供の名前・年齢  ③趣味（マイブーム）等 | ○初対面の人でも、自由に意見を出せるよう  にするためのウォーミングアップとする。  ○和やかな雰囲気づくりに配慮する。  〇③については、参加者の様子を見て変更し  てもよい。 | スライド②  ※チャットやリアクション  ボタン等も活用し、オンラ  イン上でのコミュニケーションを楽しめるようにする。 |
| ：  (１分) | **＜３つの約束＞**(１分)  ○「３つの約束」を確認する。 | ○発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守（パス有り） | スライド③ |
| ：  (２分) | **＜マンガを読んで考えましょう＞**  ○４コマまんがを見る。 | ○前半では、曖昧な表現のために、親の思い  が子供に十分に伝わっていなかったことを押さえる。  ○後半の４コマ目で親子共に笑顔であるこ  とを押さえ、考えさせる。  ※具体的な言葉かけや対応についてだけで  なく、子供の気持ちや親の気持ちについても考えられるよう促す。 | スライド④⑤⑥⑦ |
| ：  (20分) | **＜考えましょう、出し合いましょう＞**  設問：まんがの場面のようなご自身  の体験・エピソードはありま  すか。それはどんな場面でし  たか。その時どんな言葉かけ  や対応をしましたか。  ○設問について話し合う。  ※食事、片付け、遊び、睡眠など好き  なテーマについて、あるいはファシリ  テーターが指定したテーマについて  意見交流する。  ○話し合ったことを紹介する。 | ○うまくいったこと、うまくいかなかったこ  となど、同じような経験をしたことがないか振り返り、その時の子供の気持ちも想像させる。  ○子供の問題を「性格」でなく、「行動」に焦  点を当てて捉えることの大切さに触れる。  ※子供への接し方や、しつけについての悩み  や疑問、ヒントの交流につなげても良い。 | スライド⑧ |
| ：  (５分) | **＜ファシリテーターからの説明＞**  ○参考資料「親子のコミュニケーショ  ンサイクル」を見る。 | ○資料等を活用し、必要に応じて次の点を  伝える。  ・「具体的に」してほしい行動を「動作」や「行  動」を表す言葉で伝える。  ・子供と目線を合わせて話をする。  ・行動の過程をほめ、随時言葉かけをし、少  しでもできたらほめる。  ※イライラサイクルを否定するのではなく、  日頃の子供への接し方を見つめ直す機会とし、イライラな関わりが少なくできると良いことを伝える。 | スライド⑨⑩ |
| :  (５分) | **＜学習を振り返りましょう＞**  〇感想を交流する。 | ※グループで振り返りできる場合はグルー  プで行う。 | スライド⑪  ※チャット機能を利用して  もよい。 |
|  | **＜終了・アンケート＞** |  | スライド⑫ |